



# 東川登新工業団地とスマートインター両方期待

今回、測量・地質調査・基本設計の合計、589.1万円の予算が付き、新工業団地が正式に着手。今回も、県との共同で、半額を県が支出する。

場所は、東川登町の高速長崎道の山手の20haの山林から、10haを創る。H32年を目標とする。東川登町と若木町2ヶ所の合計3ヶ所の中から選定された。選定の理由は、若木町の2ヶ所は、現在の武雄工業団地(若木町)に近いとの単純な理由で外され、結果残った東川登町に決まったとの説明だった。

もつと、内容や価格など比較できる候補地を多く取り上げて、選定してもらいたかったのがガッカリ！また、前回の北方の工業団地の場所の選定理由が、高速ICが近く、企業誘致に有利との理由だった。

一方、東川登町は、西九州道入口はあるが、佐世保方面のみで、長崎道の福岡や長崎方面は行けない。なので、選定理由に矛盾があるなどと委員会でも指摘していた。

しかし、私自身、最終的に東川登町に賛成したのには、将来的には東川登町にスマートインターをめぐり福岡方面にも直接アクセスできる様にしたいとの答えを聞いたから。

スマートインターは、ETCのみの対応で、建設費は安くなったとはいえず、高額。ただ、34号線も隣接しているし、西九州道の出入口を活用するなど、大胆なアイデアを出して費用圧縮をして欲しい。話しは変わるが、伊万里市も、同様の県との共同で、若木町に近い松浦町の物産所の裏手に12haから7haの新工業団地をH32年に作る。

## いつたいのなの？

### 文化体育館建設

アセット終了

前市長の時、現在の文化会館は耐震性がない現在、老朽化して、補修や維持費が高額で、建替えて、上の経費がかかる事。また、大ホールは利用者が少ないなどの理由と、これまた、耐震性のない、白岩体育館と合わせ、文化体育館を建設するとし、移転先もH26年ぐらいに発表すると明言されていた。

費用は、他市の事例などから、17億円・25億円程度かかり、合併特例債を活用し、早期に建設されるものと思っていた。

しかし、アセットマネジメント計画(行政財産の管理計画)を立ててからスタートすると変更した。また、おかしな事に、それまでになかった、市役所新庁舎と、子ども図書館は、アセットの対象とせず、また合併特例債の残も使い果たした。

今年、3月、アセットの方針が

## 私の想像と違った

### 子ども図書館

子ども図書館もオープンまで3ヶ月、やはり私の想像とは違っていると思う。市長の方針は当初、子育てセンターで、雨の日でも1日中、親子で遊べる空間とすること期待していた。

また、市の女性職員を中心としたF1会議の子ども図書館への提案も多くの事が盛り込まれていて、こまでは、素晴らしいかった。

当然、子ども達に人気のある、ボルタリング(人工岩登り)やゲラント噴水、レゴランドの様な知育おもちゃや作業室、子どもパソコンおえかき、8Kテレビやハイレゾ音楽など、各家庭で体験できない事ができる空間であって欲しい。しかし、本を山積みした部屋、子ども空間、2Fはパンケーキ店とす。雨の日1日中、飽きず遊べますか？完成後の利用者アンケートに期待！

## 学校体育館のLED化への道

### LED化への道

市内、小中の体育館の耐震改修が一巡し終了した。そこで、現在一番古い朝日小の状況を夜見に行った。すると、外から見たら黄色く暗いと思った。それは、道路などの照明のナトリウム灯が今も設置されているからと分かった。

電力効率と演色度(自然色)の両立がベスト。そこで調べると、ナトリウム灯 効率◎ 演色度× 水銀灯 効率× 演色度△ セラミックハライド 効率◎ 演色度◎ LEDは、両方◎だが、器具から変える必要があるものもあり、当時は、セラミックハライドに変える事が重要。ただ、ハライド系は、破損があるので、防止加工がされたものと交換する必要がある。これまで学校任せだったので、今後、教育委員会が最新情報を提供する。

## まちづくり交付金とがんばる

### 応援基金

市から各町まちづくり協議会にH25・H28年度として300万円が交付され、その報告が提出されている。武雄町の花いっぱい運動をはじめイベント交流、ウォーキングや、テントなどの備品の整備に使われていて、変わった所では、北方町では中学生を被災地に派遣したとの話。

今H29・H31年度は、前期の半額の150万円に減額している。もう一つ、がんばる応援基金というのがあり、市内のグループや区で、3年間の事業に、上限20万円の補助があり、予算枠は300万円です。すでに申し込みがあるが、まだ少し残っているとの話。

H28年の実績は、武内町で馬場の山桜の周辺整備や川良の子どもの食堂などがされたとのこと。

## 公民館建設の動き

### 朝日町・武雄町

近年の町公民館の建替えはH26年に武内公民館が移転改築。H28年に楠町公民館が隣地に改築。ちなみに、費用は、約2億4500万円、うち、(県費7103万円、市費3891万円、起債1億366万円)。

額の大きい起債は、合併特例債で、市の負担は少ない。武内公民館も活用している。一方、現在一番古い朝日公民館の建替え要望が市に出され、また地元では、朝日小近くの3ヶ所を想定されているようだ。また、今議会、武雄町公民館建設もまちづくり協議会から要望が立っている。現在は武雄町公民館として独立したものはない。文化会館の2室を利用して、この2件、問題は、庁舎や子ども図書館で合併特例債が無くなっているの、財源をどうするか判断がポイント。

## 保養村貸ポート

### 貸付可能も

H7年に始め、H9年から現在の30分で450円が続いている。今議会、他議員の質問で、貸付ポート料金を(要点としては)の主旨の内容を、改めてはどうか？の質問に、近隣の公園貸ポートは、30分1000円程度がほとんど。市の答弁としては、「市全体の行革の手数料等の見直しの中で、検討して行きたい。」との要旨。

ところで、ポートの収入の状況は、池干しや長雨など年の増減はあるものの、200・250万円、H28年度は、これまでの最高の250万円、利用は上り調子。

一方、ポートにかかる人件費は、年間約250万円程度で、ほぼ、ほとんどなので、あまり、遊具や設備のない充実か、来訪客確保の為に設備の充実か、大幅な値上げに留めたが保養村の為に考えている。

## 市営住宅の40億円をどうするかの提案

### 大問題 市営住宅の40億円をどうするかの提案

武雄市の今後の大きな問題として、S40年代建設の木造住宅を中心に老朽化や耐震で建替えが迫る。現在の鉄筋コンクリート製の建設は、一世帯当り、1500万円に当り、建替え必要数289を計算すると、総額約40億円になる。そこで、私は以前より、民間の木造アパートは、約半分の建設費なので、市の住宅マスタープランで、今は、生活困窮者のセーフティネットのためなら、半分程度は、木造住宅で整備すべきと思う。そこで、現在建設中木造の大野住宅の一世帯当りの金額を計算してみた。予算額約2億4000万円を戸数の4世帯×3棟の12戸で割ると、なんと、一世帯当り2000万円になり、びっくり、市は、まだ予算額なので変わるとの話だが、結果を見れば、木造と鉄筋の差を再度確認したい。一方、本題の今後の建替えだが、国の交付補助金が45%の18億円で、国の交付補助金(借金)でまかなう。この22億円とこれまでの起債

11億円を25年で0.5%の利子で付けて毎年支払うとする。2年と約1億3284万円。の返済となる。一方、市営住宅の使用料収入が年1億6427万円あり、それから維持管理費8463万円を引くと、7964万円が差益となる。これを返済に当てても、年間5千万円を一般会計から負担することになる。やはり、目標としては、国の補助金の55%を、家賃で支払う型に近づける。その為には、民間アパート並の建築費、1戸一千万円以下で早期に改築し、市営住宅耐震化の公的責任を果たすべきと思う。※追記 北方の小原・高野移転統合建替えはH31年度完成が1年ずれる様な状況(報告)

武雄市営住宅建設年表

	S30	S40	S50
山内		大野	唐原
北方		高野小原	山下
武雄		浦田	甘久
朝日		下西山	
		第2栗原朝日	

## 昭和バス伊万里線廃止と新幹線伊万里直行バス

来年3月で、伊万里行き昭和バスが廃止されるとの説明。現在の運行状況は、平日4本・土曜日3本。これが廃止になれば、バスで伊万里に行けなれば、市内循環バスが、武雄温泉駅から、川良・武内・若木と回っているらしく、朝日方面から若木に行く498号線沿いは、バス路線がなくなる。

市内の関係は、市内循環バスのルート見直しに対応するしかない。一方、6月議会の開会が早く他市と日程がずれていたため、伊万里市議会を傍聴に行った。一般質問のやり取りで、驚くことに長崎新幹線が整備されれば、武雄からの誘客が必要になるとして、武雄―伊万里間の直行バスを運行するとの明確な答弁だった。そうならば、直行バスを利用して伊万里へ行く方法も生まれてくるのではと思った。